

第二期公募研究の募集開始にあたって：

「蛍光生体イメージ」領域の特徴の一つは、公募班員の多さです。イメージングという様々な研究分野を横につなぐ技術志向型の研究領域であるということを踏まえ、多くの研究分野の方々に蛍光生体イメージングを使ってほしい、そのためのネットワークを構築するために本研究領域に参加してほしいと願っております。研究計画代表者を何度も集めて、“ボスの輪”を作るのではなく、ネットを使った情報交換や、若手ワークショップ、技術講習会などを開催して、実働部隊＝未来を創る研究者のネットワーク構築を目指しています。第一期の公募班員をご覧いただければわかりますように、計画班員に近い研究者が多いなどということは決してありません。むしろ、私たちがあまりなじみのない研究領域で「蛍光生体イメージング」を使って新しいことを始めている・始めたいという若手研究者、あるいは研究室の若い研究者に積極的にイメージングをやらせて、研究の新展開を図りたいという研究者の方々の参加を切望しています。

総括班代表： 松田道行 （京都大学大学院・生命科学研究科）